

月例報告

学部	国際文化
学科	国際文化
国名	アメリカ
留学先	トルーマン州立大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:public speaking> 初めのオリエンテーションと1回目の授業以外、先生の体調不良により、ほぼ休講になってしまったので、自習で教科書を読み、オンラインのディスカッションボードに自分の意見を述べるというのが今のメインの学習状況です。一年生向けの分かりやすい授業だと思います。これからどんどんスピーチやプレゼンが始まるので、不安もありますが、人前に出て話すのが苦手という自分の弱さを克服できるようになればいいと思います。</p> <p><科目名:Mass communication> 週三日の授業で、毎週水曜日と金曜日はレクチャーがメインですが、月曜日はグループディスカッションの日です。基本的にはネイティブスピーカーたちとのディスカッションに入っていかなければいけないので、難しさを感じます。拙い英語でも自分の意見や、日本の事例などを話すと、他の生徒たちはみんな真剣に意見を聞いてそれに答えてくれます。ですがやはりあまりに生徒たちの話すスピードが速いため、ついていけなかったため、先生に事前にディスカッションの質問を前日にもらえるか頼んでみたところ、快諾してくれました。次回からもっと積極的にディスカッションに参加したいです。</p> <p><科目名:Film Form and scene> 私がずっと学びたかったfilm studiesの授業が取れたので、嬉しく思っています。映画の技法や、その効果について実際に映画を見て、先生や他の生徒たちとディスカッションしながら授業が進みます。積極的にディスカッションに参加することが出席点となるので、自分の意見を英語で述べるのは少し大変なことではありますが、内容が楽しいので他の授業に比べて積極的になれると思います。</p> <p><科目名:Elementary French> 英語もままならないのにフランス語を取るか、直前まで迷いましたが、法政大学で1年間ちょっと学んでいたフランス語をもう一度基礎レベルの会話力まで戻したいと思い取ることにしました。日本の語学の授業はテキストに基づく文法がメインのように感じていましたが、先生が主にフランス語で話すので、見よう見まねでフランス語を実践的に学んでいます。</p> <p><語学について> まだまだ英語力が足りないと感じる毎日です。ネイティブスピーカーとの会話は、だいたいの場合早すぎて聞き取れないです。インターナショナルの生徒たちとは、会話ができることが多いですが、それでもやはりみんな英語が私よりもはるかに上手なので、聞き取れないこともあります。私の英語はまだ、文法や発音など間違えだらけですが、とりあえず話しかけると、だいたいの人はとても親切に答えてくれます。ここの学校の人達はとても親切で真面目な人が多いように感じています。ですがまだやはり、主にインターナショナルの生徒たちや、JLEGという日本の文化や日本語を学ぶ生徒たちが集まるクラブの学生たちと話すことが多いので、徐々にネイティブスピーカーたちとの会話にも積極的に参加できるようになりたいと思います。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>私は一緒に法政大学から派遣留学をしている藤岡さんと、オフキャンパスに住むことを選びました。寮は家賃が高いのと、部屋が誰かと共有で自由があまりないので、大学のフェイスブックページからアパートを探しました。4部屋あるアパートなので、他に二人の韓国人女の子の学生も一緒に住んでいます。韓国人の女の子たちはとても気があうので毎日楽しく生活をしています。特にKateという子はまだ17歳ですが、気が合い、よく一緒に図書館で勉強をしたり、出かけたりしています。8月はインターナショナルの生徒向けのオリエンテーションやパーティーがメインだったので、たくさんインターナショナルの友達ができました。学校がパーティーを企画するという文化は日本にあまりないと思うので、みんなで踊ったり、ゲームをしたり新鮮で楽しい日々を送っています。また法政に交換留学に来ていたトルーマンの生徒たちが、買い物に連れて行ってくれたり、パーティーや、イベントに誘ってくれたり、よく面倒を見てくれています。日本や法政を大好きに思ってくれていることが大変うれしいです。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>正直に言うと、この留学生活が始まる直前までここに来ることをものすごく心配に感じていました。それは語学の面の実力不足もそうですが、自分があまり人とコミュニケーションを取ることを得意としないために、自分が1年間も異国の地でやっていけるかどうか不安に感じていたからです。直前まで日本の友達や家族に、ずっと弱音を吐いていました。ですがいざ、トルーマン州立大学での生活が始まると、自分が他人と関わることに積極的になれると気づきました。自分が大きく変わったとはまだ言えませんが、自分の英語を伸ばしたい気持ちや、いろいろな文化に触れたいという気持ちが大きいので、内向的だった自分が少し成長していると思います。これからもいろいろな人と積極的に関わっていけたらと思います。</p>